

表 1 FNCA 中性子放射化分析プロジェクト – 第 3 期

サブプロジェクト名	リーダー /副リーダー	参加表明の有無											備考
		オーストラリア	バングラデシュ	中国	韓国	インドネシア	日本	マレーシア	フィリピン	タイ	ベトナム		
3.1	地球化学図作成 と鉱物探査	ジョン・ベネ ット氏 /田中剛氏	√	×	×	×	?	√	×	?	×	×	「ソフト」なプロジェクトとして開始する。すべての参加国は、地球科学と鉱物探査の担当官庁と協議し、中性子放射化分析がもたらす利益を説明する事を求められている。その後、このサブプロジェクトに参加するか検討してほしい。
3.2	食品汚染モニタ リング	ムン・ジョン ファ氏 /シリナー ト・ラオハロ ヤナファンド 氏	×	×	√	√	√	×	√	√	√	√	参加国間比較を目的として、米(及び鶏卵?)試料を用いる。また、日々の食事摂取を代表するものとして、混合物の試料も対象とする。中性子放射化分析技術における検出限界について、注意深く検討する必要がある。
3.3	海洋堆積物内の 汚染物質モニタ リング	松尾基之氏 /シエド・モ ハメド・ホサ イン氏	?	√	√	×	√	√	√	?	√	√	K _o - 中性子放射化分析を用いて多元素分析を行う。長期に渡る変動情報を得る為には、コア試料を用いる事が望ましい。浅瀬と河口地域から、試料を採取する。また、共通の採取及び分析手順で実施する。

標記: √ 参加
 × 不参加
 ? 参加可能性あり。自国協議による。